

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス にじいるクラブ				公表日		6年 3月 20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	5	室内は少し狭いと思われませんが中庭や宿題をする場所を増設し活動している	上限12人時の受け入れでの場所の工夫			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	3	支援の安全性を優先しの個別対応時には1対1の療育を行って職員の人数を基準より多く配置しています。	職員の確保をします。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	玄関から部屋までは段差はないがトイレまでは階段がある為職員が同行している				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		必ず消毒と部屋の中に手洗いがある。子ども達の活動に合わせ近隣の公園の利用もしている				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		クールダウンやその場を離れたい時、集中したい取り組みたい時はプレハブを使っている。。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	定期的に全体職員の会議の場を設けている				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			内容を確認し参考にさせてもらっています			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎週会議を行い意見、業務遂行の把握をしています				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	7		現在、第三者による外部評価は行っていない。今後必要に応じて実施していく			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		必要な研修はできています。	研修で得た内容を実践できるように会議で確認します			
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		モニタリングでの情報、連絡ノートの活用をさせてもらって実践している				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		モニタリング月対象の利用者対しての話し合いの場を設けている。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	4	主担当が行い、会議にて相談の時もある				

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	例年と同じ活動を行うが内容を変更している	内容の固定化にならないようにしている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		主活動は集団活動で行うが、利用者の特性や課題等を考慮し個別に対応している。自由時間は個別にリラックスして過ごせるよう環境を整え、活動を計画している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	全員ではないがしている。また週1回の会議での振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		連絡帳に記録している。また必要に応じて別紙を用いている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		連携を取り合う学校もある	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者や、児童及び家庭の状況を把握した者が参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	保護者から就園時の支援計画を貰い情報として保管する場合もある	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4		必要は感じている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	児童支援センター見学は行った事業所間の交流は行っていないが、地域の公園や施設等を利用した際、場を共有して遊ぶ機会がある	活動時の内容によってはた事業所との交流を行う事も検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5	資料のみ確認している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳、LINE、送迎時に直接伝えている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	年4回の保護者会の案内を行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に説明を行っている。質問があれば随時丁寧に説明をしていく。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	3	相談員と連携しサービス計画を参考にするとともに、保護者との面談を行い思いや願い、意向等を確認して作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	2	年4回保護者会、年1回の親子活動を取り入れている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		2か月毎に、にじいろ通信を発行、2か月の活動内容の発行をしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報の取り扱いについては全職員で共通理解を図り、漏洩等のないよう細心の注意を払っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		全員行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		保護者からの聞き取り、連絡ノートで把握できるようにしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	アレルギーは保護者確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全管理に対する研修は行っている。その時予測の出来事を想定し組織組を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		月1回の衛生委員会に管理者が出席、会議に居報告をしている。ヒヤリハットがあった場合は報告書を上げている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		年2回の研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	身体拘束の対象となる利用者がいない	